

施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会 第4回ワークショップ

令和5年3月4日(土)

10:00~11:30

大和コミュニティセンター

1 開会あいさつ

2 報告① …資料1

(1) 学園の場所について

(2) 協働的な学びの確保 ~小学校の再編について~

3 今日の進め方

4 報告② …資料2

子どもワークショップについて(1月31日開催)

5 ワークショップ「目指す学園像②」 …資料3

6 閉会あいさつ

【経過】

- (1) 2月 1日(水) 第3回ワークショップ
テーマ「協働的な学びの確保 ~小学校の再編について~」
- (2) 2月 3日(金) 施設一体型小中一貫やまと学園の場所について(報告書)
を教育長に提出
- (3) 2月 9日(木) 第2回学校運営部会
- (4) 2月15日(水) 第3回執行委員会
- (5) 2月16日(木) 「協働的な学びの確保 ~小学校の再編~」について(報告書)
を教育長に提出

今年度の協議を踏まえて

【今年度の2つの大きなテーマ】

- 1 学園の場所
- 2 協働的な学びの確保～小学校の再編について～

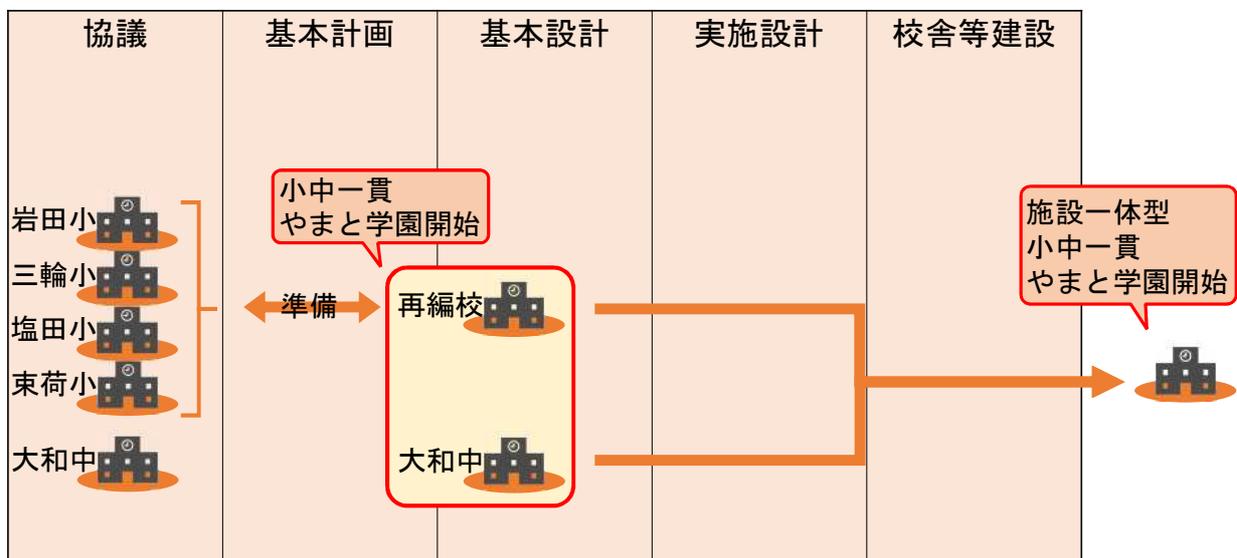
1 学園の場所

『大和中学校』

- ⇒①既に学校運営が行われており、地域に慣れ親しまれているため、地域の見守りなど安全面での課題が少なく、新しい学園への円滑な移行が見込まれる
- ②敷地やグラウンドの形状が整形で比較的広いこと
- ③地理的に大和地域の中心に位置するため、通学距離がどの地域からも6km以内（中学校）であること
※小学校は4km以内が通学目安
- ④山・川・田などの自然学習環境に恵まれていること

2 協働的な学びの確保～小学校の再編について～

子どもたちの協働的な学びの充実を図るため、「やまと学園」の新設に先行して、小学校を再編することについても検討する。



本日の協議を『基本計画』に反映



【基本計画とは】

例えばマイホームを建築する際、

まず、どのような家にしていきたいのか考えます！

- 家族が団らんでできる場所を家の中心に置きたい
- キッチンから子どもの動きがすべて見渡せる空間
- いつか子どもが巣立った時、夫婦で日光浴をしながらお茶を楽しむオープンデッキがほしい！

など

家のコンセプトを思い描き、建築家と一緒に考えていく。

これが『基本計画』です。



15歳の大和っ子像

- 大和を愛し、未来にはばたく大和っ子
- 自分が好き、人が好き、大和が大好きな子ども
 - 感謝の気持ちを持ち、さわやかなあいさつができる子ども
 - 夢や希望を持ち、努力を惜しまない子ども

子どもワークショップ

小中学生が一緒に遊べる

地域の人との交流がいっぱい

お昼ご飯がバイキング!!

子どもは通いたい!!
保護者は通わせたい!!
地域は集いたい!!
教師は学び、教えたい!!
ワクワクする学園

第1回WS 目指す学園像

子どもたち、教職員、
地域の人々が互いの存在を
尊重し、希望をもって
しっかり学べる学園



学園新設の『基本計画』を

作っていきます！

『基本計画』策定の流れ



■令和5年度1年間かけて策定します。

ワークショップ等での協議

- 本日 (3/4)
- 求められる機能
- 今の学校の使いづらいところ、
新しい学園へのアイデア
- 施設配置について

R5. 4

R6. 3

①準備委員会での協議

②市・委託事業者検討



R5. 4

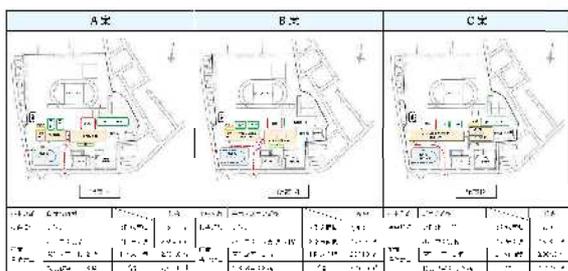
ワークショップ等

R6. 3

①準備委員会での協議

②市・委託事業者検討

■配置のパターン



■機能(例)



1人1台端末環境等
に対応したゆとり
ある教室

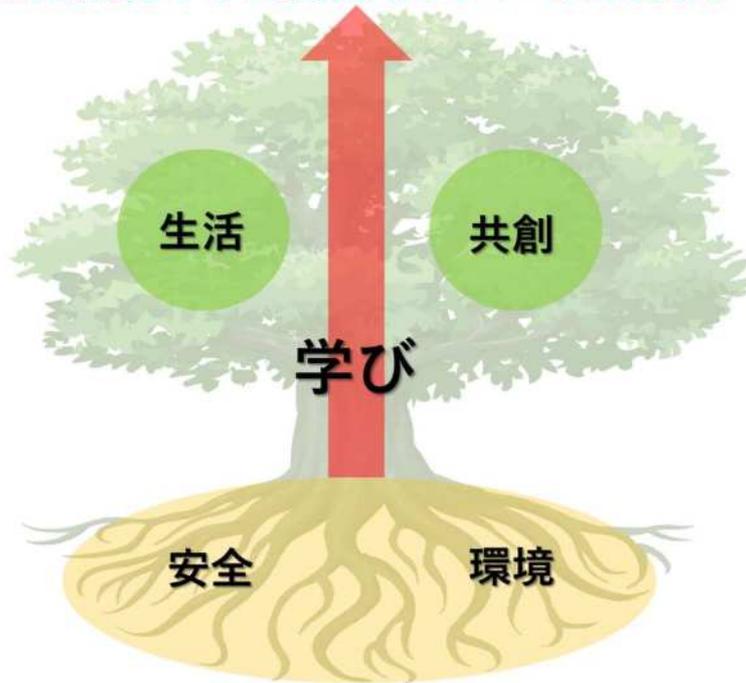
■施設の規模

■概算費用

■建設スケジュール

新しい時代の学びを実現する 学校施設の在り方（文部科学省）

全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



■令和の時代となり

- ★ 1人1台端末や校内ネットワークの拡充
- ★ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ★ ポストコロナを見据えて
⇒ 新しい時代の学びにふさわしい学校施設

↓
「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」
を文部科学省が取りまとめた。

■目指していく5つの姿

- ★ 新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮
その中心となる幹に「学び」を据える
その学びを豊かにしていく枝として
「生活」 「共創」の空間を実現する
- ★ 新しい時代の学び舎として着実に整備を推進していく
根として「安全」 「環境」の確保を実現

新しい学び舎について『学び』から考える

学び

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現



音楽教室に連続した
屋外のステージ

- ⇒変化に対応する柔軟性・可変性のある空間構成
- ⇒多様な学習活動を展開できる教室空間
- ⇒様々な教科等の教室の有機的な連携等による多様な活動の展開
- ⇒読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備
- ⇒設備・家具の工夫による多様な学習活動の展開・教室環境の充実
- ⇒学校における働き方改革を推進しパフォーマンスを最大化する執務空間
- ⇒9年間を見通した義務教育を支える施設環境



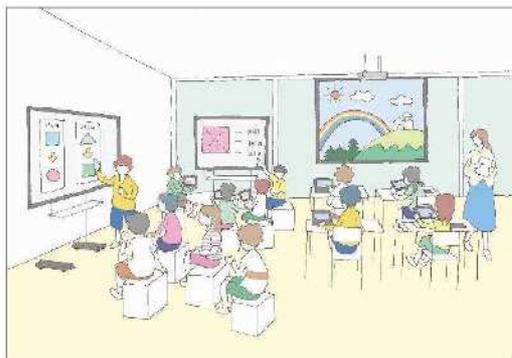
映像編集やオンライン会議のためのスタジオ機能等を備えた執務空間



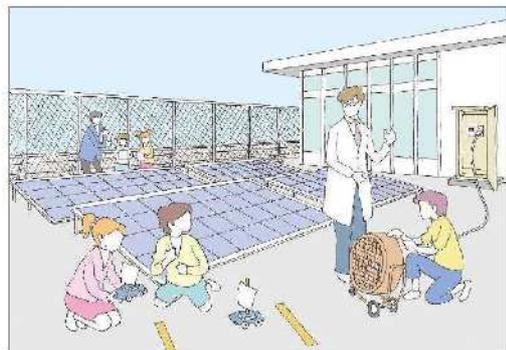
読書・学習・情報のセンターとなる図書館



学習活動に柔軟に対応できる多目的な空間



多様な学習活動が展開できる空間



太陽光発電設備を導入し環境教育に活用

新しい学び舎について『生活』から考える

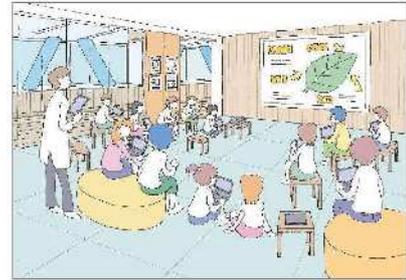
生活

新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現

- ⇒快適で温かみのあるリビング空間
- ⇒健やかで衛生的な環境の整備



家庭科教室と連続した
ランチスペース



木材を利用し温かみの
あるリビング空間



木材を活用した
児童生徒玄関

新しい学び舎について『共創』から考える

共創

地域や社会と連携・協働し、ともに創造する
共創空間を実現

- ⇒学校と地域が支え合い協働するための共創空間
- ⇒多様な「知」を集積するための複合化・共用化等



ふれあいラウンジを活用した
地域連携イベント



地域の人たちと共創した
伝統文化の継承空間



階段を活用した
イベントホール